

令和7年度 桃陵中学校 教育目標（案）

【教育目標】

校訓「**今を大切に し 自ら努め 力を合わせ やりぬく**」を指針とし、常にその具現化をめざす。

今を大切にするのは生きる原点で、人生は今の連続である。今を大切にしながら自分を成長させる。また、自分を大切にすることから、今を大切にすることが始まる。 <初代校長 水野茂夫 先生>

【自ら努め】

自ら学ぶ力をもち、広い視野から物事を考える生徒
→知性・感性が豊かで自立した人間の育成

目指す生徒像

「**自ら努め 力を合わせ やりぬく**」生徒

【力を合わせ】

尊敬の心をもち、
他と力を合わせて共に生きる生徒
→友情に厚く思いやりのある人間の育成

【やりぬく】

愛校心や郷土愛をもち、
社会的義務や責任を果たす生徒
→意志が強く責任感のある人間の育成

【経営方針】

- ア 生徒と教師、生徒同士の信頼を深め、温かい心が通い合う学校づくり
- イ 学ぶ喜び・やり遂げる満足感を基盤に、生徒と教師が学び続ける学校づくり
- ウ 保護者・地域との連携を深め、家庭・地域とともにある学校づくり

【本年度の重点目標】

「**自律**」・・・**自分を見つめる**

【具体的な重点方策】

自分自身が考え自分をコントロールできる

温かい心が通い合う学校づくり

- 学級や学年での関わりを基盤として、自他の存在を大切にできる豊かな心を育む。
- 共感的な人間関係のもとに、生徒が自己決定する場を設け、自己指導能力の育成を図る。
- 「心」「人との関わり」「生き方」に関する講演会を行い、自尊感情や自己肯定感の高揚を図る。
- 教育相談や学校生活アンケート等を通して生徒理解に努め、ひとりひとりを支える生徒指導を推進する。

互いの価値観や多様性を認め合いつつ、
集団としての成長が感じられる

生徒と教師が学び続ける学校づくり

- 「学び合う学び」の授業づくりを推進するとともに、協働的な学びと個別最適な学びの一体的な充実を図り、教科における基礎基本の定着を図る。
- 教育活動全般における ICT 機器の効果的な活用を推進する。
- 「職員から学ぶ」機会を設け、職員の同僚性を構築する。
- 今日的な教育課題の解決のために、外部講師を招聘し教師が研鑽する機会を設ける。
- OJT と多忙化解消を進めるため、何事にもチームで取り組む。

生徒・教師ともに自ら「学び」に向かい、
組織としての成長が感じられる

家庭・地域とともにある学校づくり

- 学校運営協議会と協働するとともに、PTAや校区青少年健全育成会と連携した教育活動を展開する。
- SDGs の指標のもと、持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のために、校内はもちろん地域協議会やまちづくりの会との懇談等を通して、課題を自分事として捉え行動できる実践力を養う。
- 情報公開をすすめ、学校ホームページや学校新聞、PTA新聞等で情報を発信する。

地域とともにある学校として地域と連携し
地域社会の有り様の持続可能性が実感できる